

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
うきは市水田農業推進協議会	令和3年度	事業実施地区の対象品目の作付面積が令和4年度末に現況面積以上となること。（以下同じ） 現況31.076ha ⇒ 目標31.077ha	3,107.6	3,125.5	【野菜】安全講習会の受講、品質向上に要する資材（肥料・農薬等）の導入等に取り組んだ。 【花き】安全講習会の受講、品質向上に要する産地等で推奨する品目又は品種の栽培、かん水装置の利用等に取り組んだ。 【果樹】安全講習会の受講、品質向上に要する資材（肥料・農薬等）の導入、かん水装置の利用等に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
にじ農業協同組合	令和3年度	現況5.45ha ⇒ 目標5.45ha	545.0	545.0	【野菜・果樹・花き】産地で推奨する品目品種の栽培、機械化体系の導入、集出荷経費の削減に資する資材の導入、かん水設備等の導入に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
糸島市地域水田農業推進協議会	令和3年度	現況25.17ha ⇒ 目標25.22ha	2,517.0	2,692.3	【野菜】適期施肥を推進するとともに土壌改良のための有機質資材の施用等を実施した。 【果樹】適期施肥を推進するとともに石灰資材の施用による土壌改良等を実施した。 【花き】実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、有機資材の施用や適期施肥等を実施した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
遠賀町地域水田農業推進協議会	令和3年度	現況0.44ha ⇒ 目標0.50ha	44.0	65.0	【野菜】トマトや蕾菜等で省力化によるコスト低減と安定生産を図るため、産地で戦略的に推進する肥料、農薬及び被覆資材の導入・利用を推進した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
北九州市農業再生協議会	令和3年度	現況2.28ha ⇒ 目標2.40ha	228.0	228.0	【野菜】安全講習会の受講、品質向上に資する資材（肥料・農薬等）の導入に取り組んだ。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
福岡市水田農業推進協議会	令和3年度	現況25.51ha ⇒ 目標26.00ha	2,551.0	2,406.0	【野菜】高温対策や黄化病対策を実施。また現在、耐病性品種を多く導入しているが、従来と比べ収量が低い。今後、品種の特性を把握し、栽培環境の改善やさらなる効率化を図る。 【花き】実需者ニーズに即した新たな品種の導入を推進。また適期防除指導および栽培技術の高位標準化等を推進した。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
一般財団法人むなかた地域農業活性化機構	令和3年度	現況9.945ha ⇒ 目標10.000ha	994.5	994.5	【野菜】生産・流通コストの削減に資する取組、生産性または品質向上に要する資材等の導入に資する取組及び土づくり・排水対策等作柄安定に資する取組を中心に積極的に推進した。 【花き】生産・流通コストの削減や生産性又は品質向上に要する資材等の導入に資する取組及び土づくり・排水対策等作柄安定に資する取組を中心に推進した。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
福岡八女農業協同組合星野地区切枝研究部会	令和3年度	現況0.24ha ⇒ 目標0.24ha	24.0	24.0	【花き】産地の生産基盤の維持・拡大するため、生産性または、品質向上に要する資材等の導入に取り組んだ。肥料の導入および管理講習会等を実施した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施 年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
福岡八女農業協同組合 かんきつ部会	令和3年度	現況53.24ha ⇒ 目標53.24ha	5,324.0	5,324.0	【果樹】生産性又は品質向上に要する資材(肥料)の導入及び土壌分析を実施した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
福岡八女農業協同組合 とまと部会	令和3年度	現況3.54ha ⇒ 目標3.54ha	354.0	285.0	【野菜】安全講習会の受講、品質向上に資する資材(肥料・農薬等)の導入に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
南筑後農業協同組合	令和3年度	現況44.18ha ⇒ 目標44.18ha	4,418.0	5,386.0	【野菜】安定生産を図るため、品質向上に要する資材(肥料等)の導入に取り組んだ。 【果樹】安定生産を図るため、土壌改良資材の導入に取り組んだ。 【花き】品質向上に要する資材の導入、産地等で推奨する品目又は品種の栽培に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
筑前あさくら農業協同組合	令和3年度	現況5.332ha ⇒ 目標5.332ha	533.2	533.2	【野菜】高性能省力機械設備等を各農家の生産体系に応じて導入し省力化を図りつつ、地域で推奨する肥料・農薬や需要者のニーズに即した品種を導入等、高品質な野菜の安定出荷に取り組んだ。 【花き】高性能省力機械設備等を生産体系に応じて導入し省力化を図りつつ、栽培技術の転換に努めた。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
柳川市農業再生協議会	令和3年度	現況3.29ha ⇒ 目標3.29ha	329.0	301.0	【野菜】安全講習会の受講、品質向上に資する資材(肥料等)の導入に取り組んだ。 【花き】品質向上に要する産地等で推奨する品目又は品種の栽培、肥料の導入や堆肥の投入に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
みい農業協同組合	令和3年度	現況5.319ha ⇒ 目標5.319ha	531.9	259.9	【野菜・花き】土壌改良材の散布により土壌を改良し高品質で安定的な作物の生産を図った。 またJA主催の安全講習会を開催し、農業者各位の労働安全の意識を高めた。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
筑紫野市地域水田農業推進協議会	令和3年度	現況1.717ha ⇒ 目標1.717ha	171.7	192.7	【野菜】産地等で推奨する品目の栽培を行うとともに、防虫ネットの設置等、被害防止技術を導入した。 【花き】産地等で推奨する品目の栽培を行うとともに、かん水装置等の利用、土壌の改良等を行った。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施 年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
粕屋農業協同組合	令和3年度	現況1.47ha ⇒ 目標1.50ha	147.0	147.0	【花き】推奨品目や品種の栽培を行い、安定した数量と品質で出荷を行った。堆肥投入を行い、土壌改良に努めるとともに、加温装置、かん水装置、保温カーテン、炭酸ガス供給装置を積極的に活用し品質向上を図った。農作業安全啓発動画を視聴し、事故防止に努めた。 【果樹】推奨品目や品種の栽培を行い、安定した数量と品質で出荷を行った。また地域で推奨する肥料・農薬を使用し、低コスト栽培を実現し、所得向上を図った。農作業安全啓発動画を視聴し、事故防止に努めた。	事業実施主体が設けた成果目標を達成していないが、行政基盤整備によるもので、事業実施主体の責めに帰さない事情であり、当該整備がなかったと仮定した場合は目標以上であることを鑑み、指導は行わない。
福岡嘉穂農業協同組合	令和3年度	現況13.432ha ⇒ 目標13.800ha	1,343.2	1,343.2	【野菜・果樹】生産・流通コストの削減に資する取り組み及び生産性または品質向上に要する資材等の導入に取り組んだ。 【花き】生産性または品質向上に要する資材等の導入に資する取り組みを行った。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
福岡八女農業協同組合 花き部会	令和3年度	現況7.15ha ⇒ 目標 7.15ha	715.0	691.1	【花き】実需者ニーズに即した品種の導入や産地主力品種の統一を図るとともに品質向上のため、かん水装置や冷蔵貯蔵庫の利用に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
福岡八女農業協同組合 八女電照菊部会	令和3年度	現況41.25ha ⇒ 目標41.25ha	4,125.0	4,059.0	【花き】産地の維持拡大を図るために、産地で統一した主力品種の導入や加温装置・かん水装置・冷蔵貯蔵庫等の利用に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないが、生産者の死亡による本人及び事業実施主体の責めに帰さない事情であり、死亡がなかったと仮定した場合は目標以上であることを鑑み、指導は行わない。
福岡八女農業協同組合 洋ラン部会	令和3年度	現況0.927ha ⇒ 目標0.927ha	92.7	92.7	【花き】産性や品質向上を図るため、選抜優良系統の導入や加温装置・かん水装置の利用を実施した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
福岡八女農業協同組合	令和3年度	現況4.682ha ⇒ 目標4.682ha	468.2	461.0	【果樹】産地で戦略的に推進する肥料等の導入・利用を推進した。 【花き】土壌分析に伴う、土壌改良の実施や産地等で推奨する肥料・農薬等の利用を推進した。 産地等で推奨する品目・品種の導入及び加温装置やかん水装置の利用、冷蔵貯蔵庫の利用を推進した。 【野菜】産地等で推奨する品目・品種の導入及びかん水装置の利用を推進した。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
福岡大城農業協同組合	令和3年度	現況0.85ha ⇒ 目標0.95ha	85.0	116.0	【野菜】省力化によるコスト低減と安定生産を図るため、加温装置の活用を徹底するとともに、土壌改善や収量向上に向けて、点滴施肥等を推進した。 【花き】省力化によるコスト低減と安定生産を図るため、加温装置、かん水装置の活用を徹底した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
まるまん農産次期作支援部会	令和3年度	現況3.289ha ⇒ 目標3.289ha	328.9	328.9	【花き】実需者ニーズに即した品種を導入し、安定生産のために生産性又は品質向上に要する資材等の導入や土壌改良資材の導入・利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
みやこ町地域水田農業推進協議会	令和3年度	現況2.25ha ⇒ 目標2.28ha	225.0	225.0	【果樹】産地で戦略的に推進する品目、肥料の導入に取り組んだ。 【花き】実需者ニーズに応じた新たな品種の導入に取り組んだ	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
福岡八女農業協同組合 プリンセス マム部会	令和3年度	現況2.80ha ⇒ 目標2.80ha	280.0	251.9	【花き】実需者ニーズに即した新たな品種の導入や品質向上のためのかん水装置や冷蔵貯蔵庫の利用に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
福岡八女農業協同組合 八女切り枝 研究会	令和3年度	現況1.63ha ⇒ 目標1.63ha	163.0	163.0	【花き】コロナ禍に円滑に出荷が行えるようにするための事業継続計画の策定及びコスト削減のための出荷資材の導入	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
福岡八女農業協同組合 中玉とま と部会	令和3年度	現況0.24ha ⇒ 目標0.25ha	24.0	24.0	【野菜】安全講習会の受講、品質向上に資する資材（肥料・農薬等）の導入に取り組んだ	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
田川農業協同組合	令和3年度	現況3.278ha ⇒ 目標3.278ha	327.8	327.8	【野菜】省力化によるコスト低減と安定生産を図るため、新たに機械化体制の導入を行うとともに、産地・部会で戦略的に推進する品目、品種、肥料、農薬の導入に取り組んだ。 【花き】品目毎にニーズに即した品種を導入するとともに、安定生産のために土壌分析を活用した施肥を適宜省力的に実施するため、かん水設備の利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
久留米市農業協同組合	令和3年度	現況17.482ha ⇒ 目標17.482ha	1,748.2	1,748.2	【野菜・果樹・花き】次期作における資材等の導入等の生産活動に対する支援や新たな需要確保に向けた新技術導入の取り組みを実施し、対象品目の面積を維持した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
佐賀市農業再生協議会	令和3年度	現況2.615ha ⇒ 目標2.700ha	261.5	254.5	【花き】産地で推奨する作物の作付け及びかん水施設や加湿装置を活用した。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
唐津東松浦地域農業再生協議会	令和3年度	現況1.91ha ⇒ 目標1.91ha	191.0	191.0	【花き】産地で推奨する品目及び品種の栽培及び品質向上に必要なかん水設備等（加温装置、空調装置等）の利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
大和町農業再生協議会	令和3年度	現況0.314ha ⇒ 目標0.330ha	31.4	31.4	【花き】コロナ禍においても需要が見込める品目・品種の導入及び安定的な出荷体制のため加温機等による品質管理の徹底に取り組んだ。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
白石町農業再生協議会	令和3年度	現況1.047ha ⇒ 目標1.047ha	104.7	104.7	【花き】県の花き振興計画に基づいた推奨品目の取組や、品質向上等のため土づくりや排水対策を実施した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
杵島地区農業再生協議会	令和3年度	現況1.48ha ⇒ 目標1.48ha	148.0	148.0	【花き】生産コスト削減に資するため選果機の利用による集出荷経費の削減、生産性及び品質向上に向けて加温装置・かん水装置の利用し、産地で戦略的に推進する品種に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
川副町農業再生協議会	令和3年度	現況1.117ha ⇒ 目標1.117ha	111.7	128.0	【野菜】安定生産を図るため、適期定植・適期防除を徹底し、産地で推進するコナジラミ対策のための気門封鎖に効果が期待できる薬剤の導入及び普及を推進した。 【花き】実需者ニーズに即した新たな品種の導入に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
佐賀県農業協同組合（三神エリア 東部地区）	令和3年度	現況1.94ha ⇒ 目標1.95ha	194.0	167.0	【野菜】菌体入り堆肥（アミノ酸副産物）の投入による作柄安定および収量向上や黄化葉巻病対策として農業ダブルシューターSEによるコナジラミ防除に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないが、生産者の病気による本人及び事業実施主体の責めに帰さない事情であり、病気がなかったと仮定した場合は目標以上であることを鑑み、指導は行わない。
佐賀県農業協同組合（杵藤エリア みどり地区）	令和3年度	現況6.928ha ⇒ 目標6.970ha	692.8	699.0	【野菜】コスト削減と有利販売に向けた出荷資材の共同購入に取り組んだ。 【花き】産地で推奨している品目の栽培、生産性や品質の向上のため加温装置の利用による施設栽培に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
佐賀県農業再生協議会	令和3年度	現況2.785ha ⇒ 目標2.785ha	278.5	286.3	【花き】県が振興する品目の作付を推進するとともに、安定生産のための加温装置・かん水装置の導入・利用や土壌改良資材等の活用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
長崎県農業再生協議会	令和3年度	現況65.114ha ⇒ 目標65.120ha	6,511.4	6,439.1	【野菜】産地等で戦略的に推進する肥料・農薬や品質向上に資する機器の導入に取り組んだ。 【花き】実需者ニーズに即した新たな品種や品質向上に資する機器の導入に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
氷川町農業再生協議会	令和3年度	現況2.603ha ⇒ 目標2.603ha	260.3	260.3	【野菜】省力化によるコスト低減と安定生産を図り、需要者ニーズに即した新たな品種の導入に取り組んだ。 【花き】実需者ニーズに即した新たな品種の導入に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
八代市農業再生協議会	令和3年度	現況8.99ha ⇒ 目標9.24ha	899.0	938.0	【野菜・花き】品質向上に要する産地等で推奨する品目又は品種の栽培や、安定生産のためにかん水装置や加温装置の利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
菊池市農業再生協議会	令和3年度	現況33.44ha ⇒ 目標33.44ha	3,344.0	3,270.0	【野菜】土づくりや排水対策等による作柄安定の取組、産地で戦略的に推進する肥料・農薬及び被覆資材の導入・利用、農作業環境改善等に取り組んだ。 【花き】実需者ニーズに即した品種を導入するとともに、安定生産のためにかん水設備等の導入・利用等に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
玉名市地域農業再生協議会	令和3年度	現況1.38ha ⇒ 目標1.38ha	138.0	138.0	【野菜】産地戦略的に推進する農薬（殺菌剤・殺虫剤）の導入・利用に取り組んだ。 【花き】実需者ニーズに即した品種の導入。また、産地で推進する肥料・農薬の導入・利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
宇城農産物出荷協議会	令和3年度	現況7.534ha ⇒ 目標8.474ha	753.4	847.4	【野菜・果樹】産地で戦略的に推進する肥料及び農薬等の導入・利用を推進させた。また土壌改良・排水対策を行った。 【花き】産地で戦略的に推進する肥料及び農薬等の導入・利用を推進させた。併せて、実需者ニーズに即した品種等の導入を図った。また、かん水設備等の導入(利用)し、充実化を図った。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
阿蘇市地域農業再生協議会	令和3年度	現況1.694ha ⇒ 目標1.694ha	169.4	201.3	【野菜】省力化によるコスト低減と安定生産を図るため、かん水装置及び機械の導入・利用に取り組んだ。 【花き】実需者ニーズに即した新たな品種を導入するとともに、安定生産のための設備等の導入・利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
あまくさ農業協同組合	令和3年度	現況9.949ha ⇒ 目標9.949ha	994.9	994.9	【花き】実需者ニーズに適応した品種の導入による生産性の向上と産地で推奨する肥料・農薬使用で品質の均一化に取り組んだ。また、労働・生産環境整備の利活用で品質向上に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
城南・富合地域農業再生協議会	令和3年度	現況1.128ha ⇒ 目標1.128ha	112.8	112.8	【花き】品質向上を要する産地等で推奨する品目又は品種の栽培や安定生産・供給するため、肥料・農薬・設備等の導入に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
南阿蘇村地域農業再生協議会	令和3年度	現況1.283ha ⇒ 目標1.411ha	128.3	146.8	【花き】品質向上に要する産地等で推奨する品目の栽培、かん水装置や循環扇装置の利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
山鹿市農業再生協議会	令和3年度	現況7.01ha ⇒ 目標7.51ha	701.0	1,012.0	【野菜】生産性向上に資する取組として肥料・農薬の散布、また作柄安定に資する取組として堆肥の投入を行った。 【花き】需要者ニーズに即した新たな品種の導入、また土壌改良の取組として堆肥の投入や土壌分析を行った。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
球磨地域農業協同組合	令和3年度	現況11.52ha ⇒ 目標12.00ha	1,152.0	1,640.0	【野菜】生産地域にて栽培基準で推奨する品種・肥料の導入・農薬散布を推進した。 【花き】長期保管しても品質保持が可能な日持ち認証制度への取組や、冷蔵庫を利用した出荷調整、高品質な花卉を目指した芽整理への取組を推進した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
山都地域農業再生協議会	令和3年度	現況2.25ha ⇒ 目標2.25ha	225.0	225.0	【野菜】産地で推奨する梱包資材（段ボール）の利用を推進に取り組んだ。 【花き】実需者ニーズに即した品種の導入及び安定生産のための空調装置の利用を推進に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
大津町農業再生協議会	令和3年度	現況0.187ha ⇒ 目標0.187ha	18.7	18.7	【花き】切り花を中心に効果的な取り組みをこれまで以上に充実させ、高収益作物の栽培に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
あしきた農業協同組合	令和3年度	現況1.29ha ⇒ 目標1.30ha	129.0	129.0	【花き】産地等で推奨する品目又は品種の栽培、安定生産のために生物農薬の導入・利用を行った。また市場が求める品質等の情報や出荷方針を関係者全員で共有し、生産者一体となって長期保管による品質保持・出荷調整ができるよう冷蔵貯蔵庫の共同利用を行った。 【野菜】統一的な安定生産を図るため、産地で戦略的に推進する肥料や土壌改良剤の導入・利用を推進した。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
熊本地域農業再生協議会	令和3年度	現況30.10ha ⇒ 目標30.10ha	3,010.0	3,252.0	【野菜】安定生産を図るため、優良な肥料や効果的な農薬の導入、堆肥などの有機物投入による土壌改良の取組を行い、更なる高品質生産に取り組んだ。 【花き】実需者ニーズに即した優良品種の選定を行い、安定生産のための優良な肥料、効果的な農薬の導入及びハウス施設において加温・かん水設備の利用を推進した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
熊本県農業再生協議会	令和3年度	現況8.413ha ⇒ 目標8.420ha	841.3	874.7	【野菜】機械化体系による省力化に取組むとともに、産地で推奨する肥料及び農薬、土壌改良剤の導入を推進し品質、収量の安定を図った。 【花き】実需者のニーズに即した品種を導入するとともに、高品質生産を目指しかん水設備等の導入を図った。 【つまもの類】産地で推奨する品目又は品種の栽培、土壌分析の実施等の取り組みを行い、継続的な農作物の安定生産を行った。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
益城町農業再生協議会	令和3年度	現況0.58ha ⇒ 目標0.59ha	58.0	147.0	【野菜】土壌改良材を施用することにより品質及び生産量の向上に取り組んだ。 【花き】肥料、かん水装置の利用、土壌改良資材の施工及び害虫による被害防止技術を導入することにより生産性又は品質の向上に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
上益城農業協同組合	令和3年度	現況2.392ha ⇒ 目標2.392ha	239.2	239.2	【野菜】品質向上に向けた土壌改良資材（堆肥）の導入を実施した。 【花き】推奨品目の栽培、品質向上に伴う土壌消毒の実施した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
植木町地域農業再生協議会	令和3年度	現況13.10ha ⇒ 目標13.10ha	1,310.0	1,279.0	【野菜】安全講習会の受講、品質向上に要する資材（肥料・農薬等）の導入に取り組んだ。 【花き】品質向上に要する産地等で推奨する品目または品種の栽培、かん水装置の利用に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
大分県農業協同組合	令和3年度	現況38.50ha ⇒ 目標39.00ha	3,850.0	3,769.0	【野菜・果樹・花き】県の戦略品目やＪＡの農業振興計画に定める広域品目を中心に産地が推奨する品目・品種を積極的に推進し、販売ロットを生かした有利販売の実現に取り組んだ。 土壌診断の実施による適正施肥、ＪＡや産地が推奨する肥料・農薬の導入、土壌改良剤の施用による土づくりなど、基本技術の徹底により一層の高品質生産に取り組んだ。 農作業安全に対する意識を一層高めるため農作業安全講習会を実施した。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
豊後大野市農業再生協議会	令和3年度	現況10.77ha ⇒ 目標13.00ha	1,077.0	1,040.0	【花き】実需者ニーズに即した新たな品種の導入及び作柄安定のための土壌改良資材の施用、土壌消毒の実施した。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
日出町農業再生協議会	令和3年度	現況3.85ha ⇒ 目標4.00ha	385.0	385.0	【果樹】地力の維持向上のため堆肥を投入した。産地で戦略的に推進する農薬を導入した。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
宮崎中央地域農業再生協議会	令和3年度	現況16.92ha ⇒ 目標17.00ha	1,692.0	1,704.0	【野菜】高品質かつ安定的な生産を図るため、土壌診断による施肥設計や農薬の適正使用に取り組んだ。 【果樹】加温機の導入・利用の促進による花芽着花安定を図り、経営安定に取り組んだ。 【花き】ニーズに即した新たな品種の導入及び安定生産のため、加温機やLED照明装置の導入・利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
高原町農業再生協議会	令和3年度	現況1.22ha ⇒ 目標1.24ha	122.0	122.0	【野菜】省力化によるコスト低減に努めながら安定生産を図り、産地で推奨する肥料・資材等を導入し適正な栽培による収量・品質の向上を図った。 【果樹】品目横断的な労働安全講習会を開催し、農作業安全の取組をこれまで以上に充実、徹底させた。 【花き】生産部会での栽培講習会等の充実を図り、産地で推奨する需要者ニーズに即した品目、品種の栽培を行った。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
児湯農業協同組合	令和3年度	現況13.10ha ⇒ 目標13.10ha	1,310.0	1,340.0	【野菜・果樹】肥料・農薬、病害虫について情報共有を行い、品質・生産量の向上及び作柄安定の為の土づくりに取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
小林市農業再生協議会	令和3年度	現況7.955ha ⇒ 目標7.955ha	795.5	829.0	【野菜】高い品質で安定生産を図るため、産地で戦略的に推進する肥料・農薬及び土壌改良材の導入及び利用に取り組んだ。 【果樹】実需者ニーズに即した品種を導入し、安定生産を図るため、産地で戦略的に推進する肥料・農薬及び土壌改良材の導入及び利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
西都市農業再生協議会	令和3年度	現況8.944ha ⇒ 目標8.944ha	894.4	858.7	【果樹】次期作に向けた前向きな取組として、選果機、冷蔵貯蔵庫、鳥獣害防止ネット等の利用に取り組んだ。 【花き】産地推奨品目の栽培を行うとともに、かん水設備の利用に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないが、花き生産者の病気による本人及び事業実施主体の責めに帰さない事情であり、病気がなかったと仮定した場合は目標以上であることに加え、また果樹については、結果樹面積で比較することから未達成となっており、改植に伴う結果樹面積の減少であることから、指導は行わない。
日向地域農業再生協議会	令和3年度	現況8.777ha ⇒ 目標8.777ha	877.7	877.3	【果樹】品目ごとに普及センター等指導機関と決めた肥料・農薬の施用や土壌改良、二重カーテンの利用等に取り組んだ。 【花き】品目・品種等の導入、土壌分析の実施や二重カーテンの利用に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
日南市農業再生協議会	令和3年度	現況11.62ha ⇒ 目標11.62ha	1,162.0	1,155.6	【果樹】省力化によるコスト低減及び生産性向上を図るため、農業機械・かん水装置等の利用を行うとともに、産地で推奨する肥料及び農薬の導入に取り組んだ。 【花き】花き類の生産性及び品質向上を図るため、加温装置の利用を行うとともに、産地等で推奨する品種の導入に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
玉野原組合	令和3年度	現況4.265ha ⇒ 目標4.265ha	426.5	439.7	【野菜】品質向上に資する資材（肥料・農薬等）の導入に取り組んだ。 【花き】かん水装置の利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
高千穂地区農業協同組合	令和3年度	現況2.777ha ⇒ 目標2.811ha	277.7	281.1	【果樹】堆肥の投入で圃場の土作りを行い、出荷については統一の段ボール利用により流通コスト削減を図った。 【花き】商品性の高い品種を選定・栽培し、出荷については統一の段ボール利用により流通コスト削減を図った。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
尾鈴地域農業再生協議会	令和3年度	現況7.096ha ⇒ 目標7.096ha	709.6	709.6	【野菜】次期作に向けて、産地で推奨する品目の作付け、被害防止技術の導入に取り組んだ。 【花き】次期作に向けて、需要者ニーズに即した品目を導入するとともに、生産性、品質向上のために加温装置やかん水装置の利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
尾鈴農業協同組合	令和3年度	現況3.48ha ⇒ 目標3.48ha	348.1	461.6	【野菜】ハウス内への害虫の侵入を防ぐために防虫ネット展張を徹底するとともに、トマト生育に最適な温度管理を行なった。 【果樹】土壌診断結果に基づき適正施肥を実施した。またハウス内への鳥獣侵入防止用の防鳥ネットを設置した。 【花き】切り花では実需者ニーズの高い産地推奨品種の導入と生育に適した温度管理の徹底をおこなった。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
宮崎県農業再生協議会	令和3年度	現況0.915ha ⇒ 目標0.915ha	91.5	91.5	【花き】かん水設備等の導入に取り組んだ。堆肥の投入に取り組んだ。需要者ニーズに即した品目、品種の導入及びかん水設備等の導入に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
串間市農業再生協議会	令和3年度	現況20.66ha ⇒ 目標21.30ha	2,066.0	2,066.0	【果樹】品質向上に資する資材（肥料・農薬等）の導入及び土壌改良・排水対策等に取り組んだ。 【花き】かん水設備等の利用に取り組んだ。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
枕崎市農業再生協議会	令和3年度	現況19.483ha ⇒ 目標19.483ha	1,948.3	1,975.6	【花き】実需者ニーズに即した品種の栽培及び安定生産のための加温施設等の利用に取り組んだ。市場が求める品質等の情報や出荷方針を関係者全員で共有し、生産者一体となって芽かきや冷蔵庫貯蔵等を行い、収益性の向上に努めた。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
知名町担い手育成総合支援協議会	令和3年度	現況1.675ha ⇒ 目標2.000ha	167.5	201.0	【花き】産地で推奨する品目を栽培し、かん水装置を利用して安定生産に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
東串良町農業再生協議会	令和3年度	現況1.092ha ⇒ 目標1.092ha	109.2	109.2	【野菜】品質向上、安定生産に資する土壌改良資材や完熟堆肥の導入や土壌消毒の推進・実施に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
鹿児島いずみ農業協同組合	令和3年度	現況2.45ha ⇒ 目標2.45ha	245.0	245.0	【花き】実需者ニーズに即した品種を導入するとともに、持続可能で高品質生産に適した肥料を施用した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
霧島市農業再生協議会	令和3年度	現況2.58ha ⇒ 目標2.58ha	258.0	259.5	【花き】実需者ニーズに即した新たな品種の導入及び安定生産のためにかん水装置等の利用を推進した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
北さつま農業協同組合	令和3年度	現況7.66ha ⇒ 目標7.70ha	766.0	739.0	【果樹】納期安全講習会の開催、かん水装置の利用、産地で推奨する肥料、農薬等の導入・利用を行った。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
志布志市需要対策組合	令和3年度	現況2.49ha ⇒ 目標2.50ha	249.0	249.0	【花き】次期作に向け消費者ニーズに適した、産地で推奨する品目・品種の栽培を行う。また、かん水設備等、花き栽培に欠かせない装置を適切な時期に適正に利用し、高品質な花きの生産に努めた。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
薩摩川内市農業再生協議会	令和3年度	現況1.321ha ⇒ 目標1.321ha	132.1	132.1	【花き】生産性又は品質向上に要する資材等の導入に資する取組として肥料・農薬等の購入、品種の導入を実施した。 【果樹】土づくり・排水対策等作柄安定に資する取組として土壌改良資材の施用、被害防止技術の導入(防風ネット)を実施した。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
指宿市農業再生協議会	令和3年度	現況3.349ha ⇒ 目標3.500ha	334.9	376.9	【花き】市場の需要に合わせた商品を栽培するとともに、高品質な商品出荷と適切なかん水装置の利用を行った。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
和泊町担い手育成総合支援協議会	令和3年度	現況9.99ha ⇒ 目標10.00ha	999.0	1,127.0	【花き】産地で推奨する品目又は品種の栽培、かん水装置の利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する面積の 現況面積 (令和4年度末) (a)		
曾於市農業再生協議会	令和3年度	現況0.476ha ⇒ 目標0.476ha	47.6	14.0	【花き】実需者ニーズに即した新たな品種の導入に取り組んだ。	事業実施主体が設けた成果目標及び現況面積以上の成果目標を達成していないが、生産者の病死による本人及び事業実施主体の責めに帰さない事情であり、病死がなかったと仮定した場合は目標以上であることを鑑み、指導は行わない。
吉野・笠利地区高収益作物生産組合	令和3年度	現況0.892ha ⇒ 目標0.892ha	89.2	89.2	【花き】品質向上に要する地区で推進する品目・品種等の導入、堆肥の投入及び農薬の利用・予防散布に取り組んだ。また、ストックについては、上記に加え、機械化体系の導入に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
そお鹿児島農業協同組合 花き部会	令和3年度	現況3.00ha ⇒ 目標3.10ha	300.0	300.0	【花き】産地で推奨する品目の栽培や加温施設等の利用による高品質な生産・出荷に取り組んだ。	現況面積の減少はなかったものの、事業実施主体が設けた成果目標を達成していないため、未達成と評価し指導を行う。
南さつま市農業再生協議会	令和3年度	現況10.48ha ⇒ 目標10.48ha	1,048.0	1,048.0	【果樹】県園芸振興協議会支部作成の防除暦に基づく農薬散布を実施した。新型コロナウイルスに関する農畜産業の業務継続のための対応マニュアルの策定に取り組んだ。 【花き】産地で推奨する品種の導入に取り組んだ。病害虫防除・肥培管理を実施した。品目・品種の導入、改植による新品種の導入を行った。栽培管理の簡素化と市場での新規需要に向けた市場価格の安定化を図る取組、基準肥料の適正施用及び適期病害虫・雑草防除を行った。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
鹿屋市串良地域農業再生協議会	令和3年度	現況2.407ha ⇒ 目標2.407ha	240.7	240.7	【花き】生産性又は品質の向上の取組として、消費者ニーズに即した新たな品種の導入や肥料・農薬等の導入、土づくり・排水対策等作柄安定対策として土壌改良資材の導入や排水対策に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。
鹿屋市鹿屋地域農業再生協議会	令和3年度	現況0.49ha ⇒ 目標0.49ha	49.0	49.0	【花き】品質向上に要する産地等で推奨する品目又は品種の栽培、かん水装置の利用に取り組んだ。	目標を達成しており、計画どおりの成果があったと考えられる。